

総合グラウンドを周遊



総合グラウンドを快走する参加者

村体育協会主催の健康づくりマラソンが10月17日、総合運動公園多目的グラウンドで行われました。

今年設定されたコースは、多目的グラウンドをスタートし、野球場、テニスコートをぐるりと巡る、一周およそ1キロの周遊コース。

参加者は親子の部では1周およそ1キロ、小学生の部では2周およそ2キロ、一般の部では5周およそ5キロを快走。紅葉にそまった桜の木を背に、マラソンを楽しみました。

雨の中で熱戦



雨にも負けない白熱のプレー

村ゲートボール協会（相澤春光会長）主催の第3回こんにやくカップゲートボール大会が10月1日・2日の両日、村総合運動公園多目的グラウンドで行われました。

大会には、県内はもとより関東近郊から95チームおよそ500人が一堂に会し、優勝を目指して熱戦を繰り広げました。

2日間ともあいにくの雨模様となりましたが、参加者は打ち付ける雨にも負けず、試合に集中。会場となった総合運動公園は緊張と熱気に包まれていました。

秋晴れのもとゴルフ満喫

村ゴルフクラブ連合会（遠藤信藏会長）主催の第30回チャリティーゴルフ大会が10月13日、高山村の高山ゴルフ倶楽部で開催されました。

103人が参加した大会では、見事に晴れ渡った空のもと、ゴルフを楽しみました。

大会ではこのほか、チャリティーホールで寄付を呼びかけ、8万6,711円が集まりました。

この寄付金は、大会の寄付金と合わせて社会福祉協議会へ寄付されます。



秋晴れのもとさわやかにプレー



チャリティーホールで寄付

ミニバレーでハッスル

村婦人会（松井かをる会長）主催の健康づくりミニバレーボール大会が10月15日、社会体育館で行われました。

大会には村内各支部から13チーム108人の会員が参加。熱戦が繰り広げられました。

決勝戦の森下A対川額Cの試合では、緊迫したゲームを展開。互いの好プレーに大きな声援が送られていました。

なお、試合結果は次のとおりです。

優勝：森下A、準優勝：川額C、第三位：貝野瀬田岸



熱戦を繰り広げた森下A対川額Cの決勝戦

高砂大学が児童と交流



授業を参観する高砂大学生のみなさん



児童とレクリエーションで交流

高砂大学（廣田忠一学級長）では10月7日、大学生23人が南小学校に一日体験入学をしました。

この体験入学では、大学生が村内の小学校を訪れ、授業参観や給食の試食、児童らとレクリエーションで触れ合うなど、小学生との交流を行っています。

授業中の教室を訪れた大学生は、熱心に授業に取り組む児童の姿に関心。社会の授業を行っていた4年生のクラスでは、開拓時代に苦労した水について大学生のみなさんが、井戸水を使っていたことやその味など、当時の"水"について児童に語りました。

また、お昼には給食を試食。児童が実際に食べている給食を試食した大学生らは、小学校当時のお昼の思い出を互いに懐かしんでいました。

午後には体育館で1年生と交流。輪投げや羽根っこで一緒に遊び楽しい一日を過ごしました。

たくさん掘れたよ！

第二保育園では10月15日、秋の恒例行事イモ掘りを行いました。

サツマイモは園児たちが5月末に植え、大切に育ててきました。

イモ掘り作業で園児たちは、スコップを片手に悪戦苦闘しながらも、サツマイモの大きさに大喜び。大きな歓声を上げていました。

掘り出したサツマイモはたき火の中に入れられ、ほっくほくの焼きいもに。夢中でほおばる園児たちは「甘くておいしい！」と満面の笑みを浮かべて秋の味覚を楽しんでいました。



ほら、大きいでしょ！

真っ赤にみのったリンゴ味わう



真っ赤に実ったリンゴのもぎ方を園児たちに説明する後藤さん

第一保育園の年長組32人が10月14日、滝寺りんご団地でリンゴ狩りを楽しみました。

リンゴ狩りは同団地でリンゴを栽培している後藤政昭さん（滝寺）が「園児たちにおいしい旬のリンゴを味わって、楽しい思い出を作ってもらおう」と企画、毎年園児を招待しています。

この日園児たちが味わったリンゴは旬を迎えた陽光。園児たちは後藤さんからリンゴのもぎ方の説明を受け、真っ赤に実った大きなリンゴをもぎとると満面の笑顔を浮かべていました。

後藤さんは「子どもたちが今日の思い出やリンゴを持ち帰り、家族でだんらんしてもらえればうれしいですね」と話していました。